

1. 略歴

- 1997年3月 東京大学文学部歴史文化学科西洋史学専修課程卒業
- 2002年11月 ロンドン大学 UCL 考古学研究所修士課程修了 学位取得 修士 (文化遺産研究)
- 2003年3月 東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士課程修了 学位取得 修士 (文化経営学)
- 2003年5-8月 国連教育科学文化機関 (ユネスコ) パリ本部文化セクター文化遺産部インターン
- 2004年5-7月 国連教育科学文化機関 (ユネスコ) パリ本部文化セクター文化遺産部コンサルタント
- 2005年6-8月 国連教育科学文化機関 (ユネスコ) パリ本部文化セクター文化遺産部コンサルタント
- 2009年1月 セインズベリー日本藝術研究所のハンダ日本考古学フェロー
- 2009年10月 ロンドン大学 UCL 考古学研究所博士課程修了 学位取得 博士 (パブリックアーケオロジ)
- 2010年9月 イーストアングリア大学 (University of East Anglia) 世界美術・博物館学科 (School of World Art Studies and Museology) 名誉講師 (Honorary Lecturer)
- 2010年9月 ロンドン大学 UCL 考古学研究所名誉講師 (Honorary Lecturer)
- 2011年9月 セインズベリー日本藝術研究所学術アソシエイト (Academic Associate)
- 2011年9月 イーストアングリア大学 (University of East Anglia) 世界美術・博物館学科 (School of World Art Studies and Museology) 准教授 (Lecturer)
- 2015年1月 イーストアングリア大学高等教育実践準修士課程修了 学位取得 準修士 (高等教育実践)
- 2015年10月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 主要業績

(1) 著書 (単著)

松田陽 2014 『実験パブリックアーケオロジ：遺跡発掘と地域社会』 同成社、314頁。

(2) 著書 (共編著・分担執筆)

松田陽・岡村勝行 2012 『入門パブリック・アーケオロジ』 (同成社) 184頁。

Matsuda, Akira and Okamura, Katsuyuki. 2011. Introduction: New Perspectives in Global Public Archaeology, Okamura, K. and Matsuda, A. (eds.) *New Perspectives in Global Public Archaeology*, New York: Springer, pp.1-18.

Matsuda, Akira. 2011. Archaeology by the (Far) East in the West: What Local People Think if Japanese Archaeologists Excavate the 'Villa of Augustus' in Italy?, in Okamura, K. and Matsuda, A. (eds.) *New Perspectives in Global Public Archaeology*, New York: Springer, pp.167-181.

(3) 論文

Matsuda, Akira. 2014. Archaeology and Newspaper Reports: A Case Study of Japan, in Stone, P. and Hui, Z. (eds.). *Sharing Archaeology: Academe, Practice and the Public*, New York: Routledge, pp.238-246.

松田陽 2014 「古墳とパブリックアーケオロジ」『古墳と現代社会』(一瀬和夫、福永伸哉、北條芳隆編、同成社、2014年)、pp.144-161.

松田陽 2013 「パブリック・アーケオロジの観点から見た考古学、文化財、文化遺産」『考古学研究』第60巻第2号 (通巻238号)、pp.19-33.

Matsuda, Akira. 2010. When a local legend is (mis)appropriated in the interpretation of an archaeological site, *Archaeologies* 6 (3), pp.447-467.

松田陽 2010 「ソムマ・ヴェスヴィアーナにおけるパブリックアーケオロジ」『坪井清足先生卒寿記念論集—埋文行政と研究のはざま—』(明新社)、pp.515-524.

Okamura, Katsuyuki and Matsuda, Akira. 2010. Archaeological Heritage Management in Japan, Messenger, P. M. and Smith, G. S. (eds.) *Cultural Heritage Management: A Global Perspective*, Gainesville: University of Florida, pp.99-110.

Sadler, Nigel and Matsuda, Akira. 2010. Introduction (Special Issue: Making Archaeology More Inclusive), *Archaeologies* 6 (3), pp.425-430.

松田陽 2005 「パブリック考古学の遺跡への導入：英国の事例考察および日本におけるその適用の可能性」『遺跡学研究』第2号、pp.90-101.

青柳正規・松田陽 2005 「世界遺産の理念と制度」『世界遺産と歴史学』佐藤信編（山川出版社）、pp.5-25.

Matsuda, Akira. 2004. The Concept of 'the Public' and the Aims of Public Archaeology, *Papers from the Institute of Archaeology* 15, pp.66-75.

(4) その他の論考

Matsuda, Akira. 2014. Japan: Cultural Heritage Management, in Smith, C. (ed.) *Encyclopaedia of Global Archaeology*, New York: Springer, pp.4156-4160.

Matsuda, Akira. 2014. Koji Mizoguchi, in Smith, C. (ed.) *Encyclopaedia of Global Archaeology*; New York: Springer, pp.4967-4968.

松田陽 2014 「発掘のエスノグラフィー」『月刊みんぱく』2014年4月号、pp.5-6.

松田陽 2014 「パブリック、遺産、文化財、考古学の関係について」『パブリックな存在としての遺跡・遺産：平成24年度遺跡等マネジメント研究集会（第2回）報告書』（奈良文化財研究所）、pp.22-27.

松田陽 2011 「「現在」に位置づけられる遺跡」『遺跡学研究』第8号、pp.178-183.

サイモン・ケイナー、永瀬史人、辻田淳一郎、松田陽、ニコル・クーリッジ・ルマニエール 2010 「土偶の力、再発掘」『文化資源学』第8号、pp.1-8.

松田陽 2010 「ローマ時代のロンドンを掘る」『古代学研究』第184号、pp.66-67.

松田陽・岡村勝行 2009 「考古学の新天地：変革期の考古学者（4）現代社会と積極的に関わっていく考古学を目指して」『考古学研究』第55巻第4号（通巻220号）、pp.117-120.

岡村勝行・松田陽 2008 「考古学の新天地：変革期の考古学者（3）『考古学』を発掘する」『考古学研究』第55巻第3号（通巻219号）、pp.106-109.

岡村勝行・松田陽 2008 「考古学の新天地：変革期の考古学者（2）何が語れるか、何を語るべきか」『考古学研究』第55巻第2号（通巻218号）、pp.97-100.

岡村勝行・松田陽 2008 「考古学の新天地：変革期の考古学者（1）私たちはどこにいるか？」『考古学研究』第55巻第1号（通巻217号）、pp.81-84.

Matsuda, Akira. 2007. La prima guida di Somma, in Di Mauro, A. (ed.) *Antiquitates Summae: Studi e memorie in onore di Raffaele D'Avino*, Salerno: Fusco, pp.92-93.

杉山浩平・松田陽・岩城克洋・向井朋夫 2006 「ソンマ・ヴェスヴィアーナの遺跡紹介」『考古学研究』第52巻第4号（通巻208号）、pp.109-112.

松田陽・岡村勝行 2005 「パブリック考古学最前線（1）：パブリック考古学の成立と英国における発展」『考古学研究』第52巻第1号（通巻205号）、pp.100-103.

松田陽 2005 「英国のパブリック・アーケオロジー：その活動の多様さと社会背景」『文化遺産の世界』第17号）、pp.7-9.

松田陽 2001 「ダイヤモンドのレプリカが生まれるとき－真贋二元論を超えて」（西野嘉章編『真贋のはざま－デュシャンから遺伝子まで』東京大学総合博物館）pp.185-201.

Matsuda, Akira. 2001. Vano 40, in Aoyagi, M. (ed.) *Annual Report of the Institute for the Study of Cultural Exchange 17: Preliminary Report of Excavation 2000 of Roman Villa at Cazzanello (Tarquinia)*. Tokyo: University of Tokyo, pp.9-11.

3. 主な社会活動

(1) 学会等活動

世界考古学会議（World Archaeological Congress）事務局長（Secretary）（2013年1月－現在）

学術雑誌 *Public Archaeology* の編集委員（2013年8月－現在）

文化資源学会 会員

日本遺跡学会 会員

日本イコモス（国際記念物遺跡会議）国内委員会 会員